



馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

萬福寺だより

第27号

1 2017年春号 / no.27 / 平成29年3月1日発行

2 発行 / 曹洞宗 萬福寺護持会

3 HP <http://www.manpukuji.or.jp>

ごあいさつ

萬福寺 住職 安本 由道



平成28年1月8日、先代二十六世太真利正 大和尚遷化に伴い、同月22日付で住職に就任させていただきました。先般の諸法要では近隣各御寺院様、檀信徒各家皆様方のご助力を賜わり厚く御礼申し上げます。

また本年は先の住職参回忌に併せて隣峰、組寺、教区、近隣、法系の諸御寺院様方の御随喜を賜わり、11月、二十七世現住 晋山結制諸法要挙行の運びとなりました。「晋」は、進の意味。「山」はお寺を表します。晋山式とは山内にすすみいる住職を、檀信徒が正式に迎え入れる儀式で、菩提寺を護持、存続していくために必要不可欠の行事であります。

今般の式典に先立ち、1月26日、護持会役員会議にて晋山式実行委員会が立ち上げられました。各役員の皆様方には幾度も計画、打ち合わせ等にご協力をお願いすることとなり、更に檀信徒皆様方には式典挙行につき、盛会裏に厳修できますよう益々のご助力、ご祈念のほど、お願い申し上げます。

所感、ご先祖様の菩提を末永く安寧にお祀りご供養すること。更には皆様の安心なる心の一よりどころのお寺となれますよう、日々精進に勤めさせていただく所存です。何卒、今後ともご指導、ご鞭撻、ご法愛を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

合掌

来る平成29年11月23日、晋山式を挙行いたします

式典の詳細等につきましては、後日、委員会よりご案内申し上げます

ごあいさつ
新住職就任の式典「晋山式」を
ともにお祝い致しますよう

萬福寺 総代 平林 延勝

春光の候、檀信徒の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご尽力を賜わり厚く御礼申し上げます。



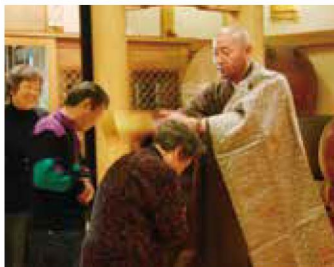
さて、本年は当山におきましては、前住職・安本利正大和尚の参回忌に伴い、新命住職・由道和尚の晋山式を、平成29年11月23日（木・祝）より、執り行いたいと存じます。晋山式とは、大本山より新たに任命された新命和尚が住職として就任する式典であります。晋山式を行うことは、萬福寺が継承されるときともに、皆様の先祖の菩提寺を興隆することであり、檀家各家の安泰につながると考えます。住職にとつて生涯一度という、このおめでたい儀式を、檀信徒の皆様とともに、お祝い致したく存じます。

更に記念事業として山門の茅葺屋根葺き替え工事、歴代住職墓地整備、境内一部擁壁工事等を計画し、式典に向けて伽藍の整備を予定しております。萬福寺護持会役員一同、寺門のさらなる繁栄を祈願し、新住職とともに益々の護持に勤めさせていただく所存でございます。今後とも何卒ご協力のほどお願い申し上げます。



歳末諷経・大般若会御祈祷諷経、除夜の鐘つき

厄を払ってすがすがしい新年を迎えました



厄を払ってもらう参詣者



導師を勤められるご住職



寒さの中、温かい豚汁が大好評



和尚さんにつきそわれたの鐘つき

大晦日の12月31日、午後11時から行く年1年間の感謝を込めて歳末諷経が、引き続き正月の法要・大般若会御祈祷諷経が、安本由道ご住職式師のもと、しめやかに執り行われました。法要では蛇腹折りされた経本「大般若経」の一部20巻が転読され、新年にあたって無病息災、祈願成就が御祈祷されました。法要後のご焼香で参詣者はご住職に「大般若経」を体にかけてもらい、厄を払ってすがすがしい新年を迎えました。

その後行われた除夜の鐘つきには、近隣住民はじめ約450名の参詣者が集まり、護持会女性部の皆様手作りの豚汁やふるまい酒で暖をとりながら順番を待ちました。全員の方が鐘をつき終わったのは、午前2時でした。



長蛇の列を作って鐘つきの順番を待つ皆さん



列は幾重にもなり最後尾は鐘楼門前ということも



豚汁の接待に並ぶ皆さん

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。



浄巾でお身ぬぐい

昨年12月14日(水)午前11時から年末恒例の沐浴式・御開帳が行われました。護持会の皆さまが数多く出席する中、御本尊・阿彌陀如来三尊仏を安本由道ご住職が浄巾でお清めし、1年間の塵を払い、新年を迎える準備を整えられました。

御本尊・阿彌陀如来三尊仏の沐浴式・御開帳

平成28年12月14日(水)

勉強しながら精進してまいります」と話されました。

ご法要後、お身ぬぐいした布を小さく切って参詣者に分けたという故事にない、タオルが配られました。なお、御開帳は、正月三が日も行われました。



ご挨拶されるご住職



中央が阿彌陀如来様、右が観音菩薩様、左が勢至菩薩様

先住・安本利正大和尚 一周忌法要を営む

平成28年12月6日(火)

昨年12月6日、先の住職・安本利正大和尚の一周忌法要が、神奈川県泰野市・浄圓寺御住職、暘道雄老師を導師にお迎えして、厳粛に執り行われました。

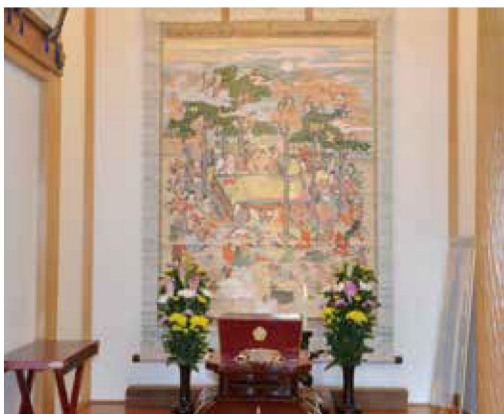


大涅槃図を掲げて 供養を勤行

涅槃会

平成29年2月7日~15日

2月7日から15日にかけて、本堂右側に「大涅槃図」(写真)が掲げられ、涅槃会の供養がなされました。涅槃会は「三仏忌」(お釈迦様に関わる三つの日)のひとつで、2月15日、お釈迦様がインドのクシナガラの地で亡くなられた日にちなんで行われる供養です。「大涅槃図」には、沙羅双樹のもと、入滅するお釈迦様を多くの弟子や動物たちが取り囲み、嘆き悲しむ様子が描かれています。



萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

INFORMATION

仏事のご案内

ご家族・ご近所お誘い合わせのうえ、ご参詣ください

3.20 春彼岸会法要

午後1時から春風亭柳朝師匠による落語、2時から法要

ご法要前の心の法話では、今回で3回目となる落語会が開催されます。本堂に設けられた「萬福寺寄席」で、地元・大森にお住まいの春風亭柳朝師匠による江戸落語をご堪能いただけます。落語で大いに笑っていただいた後は、ご先祖様からいただいた今ある幸せに感謝し、お墓参りをいたしましょう。



本年度第3回やすらぎの写経会が、2月11日（土・祝）午後1時から本堂客殿で開催されました。本年度最後の写経会には、37名が参加し、心静かに筆を運ばれていました。

写経終了後には今年度書き上げられた「般若心経」の御写経を奉納する納経諷経が、安本由道ご住

平成28年度第3回 やすらぎの写経会
のうきようふぎん
納経諷経を営み御写経を奉納
平成29年2月11日（土・祝）

職式師のもとで営まれました。出席者全員で社会の平穏を祈って般若心経を唱和し、御焼香しました。その後、今年度最後の会として懇親会が開催され、交流を深めました。



4.8 花まつり

午前11時から法要

お釈迦様のご誕生をお祝いするこの日は、「花まつり」の法要が営まれます。屋根や四方を花で飾りつけた花御堂の中に、天上、天下を指さす釈尊の誕生仏を安置し、甘茶を注いで灌仏します。季節も桜の花が満開の頃です。お誘い合わせのうえ、ご参詣ください。甘茶のティーバックが配られます。

御葬儀・法要の連絡は
萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※ 梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

今年は暖冬のせいか梅の花の開花もいつもより早く感じられます。東京ではおだやかな年明けを迎えることができたのですが、海の向こうでは米国大統領の発言や行動をめぐって、世界中が揺れ動く状況となっています。今後、世界がどのように変わって行くのか予測もつきません。

世界中が人種や宗教の問題で揺れていますが、その中に日本の仏教を置いてみると、なんとおだやかな信仰であることかと思えます。他の宗教をみだらに排撃せず、和を尊ぶ精神に重きを置く教えであることのありがたさを感じさせられます。

巻頭のご住職と総代様のご挨拶にもありますように、今年は萬福寺にとって、大事な一年となります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。